《今後の予定》

新緑の天目山茶会

恒例の茶会を開催します。コロナ禍で昨年、一昨年と開催できずにおりましたが、今年こそはと３年分の思いを込めて皆様をお迎えしたく思います。新緑きらめく天目山に是非足をお運びください。

〈会期〉令和４年６月５日(日)
午前９時～午後３時

〈会場〉石庭会館および石庭東屋

〈御香料〉1,000円　※先着100名様

新型コロナウイルスの感染対策を行っています

石庭会館　薄茶席　表千家　丸山 宗恵
石庭東屋　野点席　表千家　前嶋康太郎

初夏のＹＢＳツアー

昨年は2回開催され、共に成功を収めたＹＢＳトラベルによる栖雲寺ツアーを本年も企画してくれました。内容は岩坐禅と法話、そして境内案内と宝物拝観、歴史講話など。昼食は住職の手作り精進料理をお寺の作法で食します。

5月29日は人数が集まり催行が決定したと連絡が入りました。6月26日、7月31日（全て日曜日）にも予定されています。どうぞご参加ください。　お問合せはYBSツアー　055-231-3366

紅葉の宝物風入れ展

昨年600人もの入場者で賑わった宝物風入れ展ですが、今年も日程は決まっております。

令和4年　11月11日(金)　～　13日(日)　　午前9時～午後3時　拝観料600円

宝物展示のほか、大般若祈祷会・蕎麦ふるまい・囲炉裏カフェなどで紅葉狩りをお楽しみいただけますので是非お出かけください。

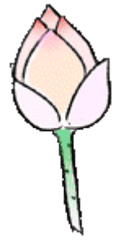
＜発行者＞　臨済宗建長寺派 天目山 栖雲寺　住職 青柳真元
〒409-1201 山梨県甲州市大和町木賊122　TEL 0553-48-2797
ホームページhttp://www.tenmokusan.or.jp　または[栖雲寺]で検索

公式ホームページ　お寺の説明、行事案内など
住職日単(blog)　日常をありのままに、住職日誌
Instagram　天目山の写真　*Please follow*

栖雲寺たより

天　目

第３９号
発行日
令和４年４月１０日



己(おの)が身(み)にひきくらべて　殺(ころ)してはならぬ　殺(ころ)さしめてはならぬ

日本の主要な伝統仏教教団100団体以上が加盟している〈全日本仏教会〉には、臨済宗建長寺派はもちろんのこと山梨県仏教会も加盟しているのですが、拙僧このたび山梨県仏教会の理事を拝命いたしました。10月には日蓮宗総本山の身延山で全国仏教徒会議つまり仏教徒の全国大会という一大行事を控え、県仏教会理事はその大会副会長も兼ねておりますので責任重大であります。就任後間もない手探り状態の中ではありますが、他派他宗のお坊さん達と協力し、無事に円満成就できるよう微力ながら尽くしてまいります。

県仏の理事になるまで全日本仏教会のホームページなど閲覧したこともなかったのですが、少しはチェックしておかねばと覗いてみると、ウクライナ情勢に対する理事長談話が掲載されていました。そこに引用されていたのが表題の『仏陀のことば（中村元訳）』です。

『全てのものは暴力におびえる　すべての生きものにとって生命は愛しい　己が身にひきくらべて　殺してはならぬ　殺さしめてはならぬ』

2,500年も昔に令和の時代をお見通しになられていたかのようなお釈迦様のおことばは、強く厳しく、でもあたたかく心に響きます。人類は何千年も前から暴力や殺しあいを繰り返してきたのであり、そしてきっとこれからも無くなることはない。そのような世の中を憂い、戒めとして発せられたおことばなのでしょう。

暴力を受けおびえる者を、生命を尊び愛する者を、自分の身に置き換えてよく考え、殺してはならない、殺させてはならない。この教えを深く心に刻み生きていきたいものです。

11年前の3月11日、東北地方が未曽有の大震災に見舞われた時、私たちはみな己が身にひきくらべて支援の手を差し伸べ、寄り添い、離れた場所にいても他人事ではなく自分事の様に思いを伝え助け合いました。2年前に突如出現し世界中に蔓延した新型コロナウイルスに対しても、紆余曲折さまざまな対策と意見のぶつかり合いを経ながら、己が身にひきくらべて感染対策をし、蔓延防止で協力し合いました。ウイルスと共存しながらの収束への道も見えてきたように思います。

歴史の中で体験してきた様々な試練から得た智恵は、人々を強くし、人間らしさを高め、慈悲の心を育ててくれました。自分ファーストが強まる現代社会、あろうことか軽視されあるいは欠乏しているのはまさに『己が身にひきくらべて』の精神でありましょう。

困難に直面した今できるのは、時代が変わっても変わることのないお釈迦様の教えを学び肝に銘じ、坐禅によってその教えを身体で捉え、己が身にひきくらべて祈り、物事をありのままに正しく見る智恵を養うこと。そしてその大切さを伝えていくことしかないのです。

深刻な世界情勢を前にして、私のような不徹底の宗教者が発する言葉や行いはとても小さなことではあるけれど、決して無駄なことではないと信じて祈り続けます。

一日も早く争いが収まり、平和な世界になりますように。

住職　青柳真元　　合掌

【令和3年12月　～　令和4年4月活動報告】

坐禅の聖地®　　商標登録しました

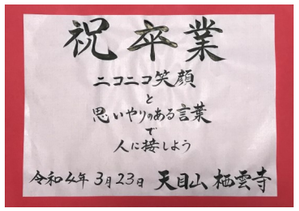
「栖雲寺でも聖地の登録をしたらどうですか？」と世の中の聖地ブームを見て助言をくれた知人がおりまして、令和３年の１月にダメもとで「坐禅の聖地」を出願しておりました。約１年待つと、12月17日に登録され登録証が届きました。

今後、全国で「坐禅の聖地」と使用できるのはこの天目山栖雲寺だけとなります。聖地の名に恥じぬよう住職も精進し、坐禅の聖地として知名度を上げ来山者の増加につなげていけたらと思っています。

登録直後でタイムリーなのと内容がキャッチーなので撮影させてほしい、とＹＢＳ山梨放送が取材に来まして2月25日の「てて！ＴＶ」で放送されました。

おかげさまで定例坐禅会の参加者増加、岩坐禅研修の申し込みにもつながっております。

甲州市内の小学校にお祝いメッセージ



令和３年度はコロナ禍で例年より少ない来山ではありましたが、市内から４校が栖雲寺に来て勉強や坐禅をしてくれましたので、卒業式直前反対に訪問し、お祝いメッセージをお渡ししました。これは昨年から始めております。禅語の和顔愛語を小学生向けに意訳したメッセージ。頭の片隅にでも残ってくれればと思います。

みんな、卒業おめでとう。中学生になっても楽しい学校生活を送ってください。そしてたまには栖雲寺にもお参りに来てくださいね。

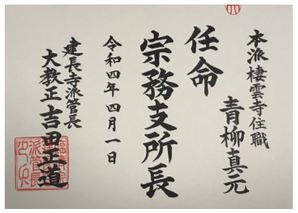
今年もみんなで蕎麦の種蒔き

3月27日(日)の定例坐禅会終了後に蕎麦の種蒔きをしました。町内の若者達、子供達、坐禅会参加者など、10名以上の手を借りたので荒れた地を耕して種蒔きをしても1時間ほどで終了。

前日に心を込めて打たせてもらった十割蕎麦を茹でて参加者にふるまいました。

順調にいけば6月頃にはきれいな花を咲かせると思いますので見に来てください。

宗務支所長に就任



臨済宗建長寺派の寺院は関東一円に点在し27の支所に分かれています。栖雲寺が所属するのは『山梨県第二部宗務支所』。4月1日付で拙僧が宗務支所長に任命されました。

建長寺財務部長在任中は免除いただいておりましたが2年前に退任し、また支所内の和尚の数も減少し高齢化も進み、むげに断るわけにもいきません。本山と末寺のパイプ役として、しっかりと責任を果たしてまいります。

山梨県仏教会の理事に就任

表面の文章にも書きましたとおり、全日本仏教会に加盟する山梨県仏教会の理事に就任いたしました。及ばずながら、仏教会の発展・繁栄のために尽くしてまいります。

長男が中学生に

大本山建長寺の隣には、明治18年に創設された宗学林（僧侶の教育機関）を前身とする鎌倉学園という中高一貫校があります。OBにはミュージシャンの桑田佳祐さんやタレントの堺正章さんなどがいます。私事で恐縮ですが、この春長男が小学校を卒業し、４月７日に鎌倉学園中学校に入学いたしました。

《長男から一言》

檀家の皆様や摩利支天さんの見えない力のおかげで鎌倉学園に合格することができました。ありがとうございます。入学してから楽しく勉強をしています。これからもっと友達が増えてくれると嬉しいです。しかし、校舎が広くてまだすべて覚えきれていません。まだ学園生活にも慣れていないので、緊張することばかりです。部活はまだ何に入るか決めていませんが、決まり次第またお伝えします。これからも応援よろしくお願いします。

【栖雲寺の各種禅体験】

『坐禅の聖地®』で岩坐禅

☆毎月最終日曜日　午前7時～8時　　坐禅
引続　　8時～8時半　茶礼

天目山でしか体験することのできない禅庭の岩坐禅。
雨天時は堂内となります。　　★志納金300円

初心者大歓迎　心得を説明いたします

体験者に霊石袋を授与いたします

霊石袋

石庭から流れ出た雲母（きらら）を採取し封入
雲母は　・雑念を取り除き集中力を高める
・己の限界を超え大きな成果を得る
・チャンスを逃さずつかむ
大いなる力を持つパワーストーンです。岩坐禅をされた方限定で差し上げております。

その他の禅体験

坐禅研修のほかにも、境内案内と歴史講話、写経と写仏、板の間ぞうきん掛けと本堂掃除、食作法（お寺の作法で精進料理）、けんちん汁講座（その歴史と建長寺レシピによる作り方教室）、蕎麦打ち体験など、様々な禅寺体験の組み合わせが可能です。　〈要予約〉

電話またはメールでお問い合わせください。